

「各務原市新庁舎建設基本設計（案）」の パブリックコメント（意見募集）の実施結果について

1. 実施結果の概要

各務原市新庁舎の建設に向けて、配置や構造、必要な機能・設備などの基本的な内容を決める「基本設計」を策定するため、基本設計（案）についてパブリックコメント（意見募集）を実施しました。

その結果、22人の皆様からご意見を頂きました。頂いたご意見と市の考え方は下記のとおりです。

提出されたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約し、できる限り内容ごとに整理・分類した上で、市の考え方を示しています（順不同）。なお、意見を求める内容と直接関係のないご意見、趣旨が不明瞭なご意見などについても、意見内容を公表し、市の考え方を示しています。



（1）実施期間

平成29年11月1日（水曜日）～平成29年11月30日（木曜日）

（2）意見の提出状況

①提出者数：22人

②意見数：92件

2. 頂いたご意見と市の考え方

【P.1 新庁舎のコンセプト】

	意見	市の考え方
1	11月1日に鶉沼福祉センターにおいて行われた新庁舎建設の基本設計説明会に参加いたしました。新庁舎建設に対するコンセプト、各フロアの配置計画案などをお聞きしますと、総合的にはよく検討された案と見受けられ賛成いたします。今後さらに詳細について検討が進められることと思いますが、市民にとりまして行政がより身近に感じられる機能と、行政効率の良いものとしていただけるよう進めていただきますようお願いいたします。	市庁舎には、市民の生活状況の変化や節目ごとに様々な支援やサービスを提供する中核的な公共施設としての役割、災害時の防災拠点として市民の安全・安心を守る役割、環境への取り組みを先導して行く施設としての役割、行政活動の拠点として職員の執務空間としての役割が求められます。 これらの役割を果たすため、新庁舎の目指す姿として、新庁舎の基本理念を「市民の安全・安心な暮らしを支え みんなにやさしい庁舎」、基本方針を「防災拠点の機能が果たせる庁舎」、「誰もが利用しやすい庁舎」、「市民に親しまれる庁舎」、「経済性に配慮した環境にやさしい庁舎」、「機能的・効率的な庁舎」と決めました。
2	新庁舎のコンセプト、新庁舎建設計画及び基本設計案全体の内容には賛成である。	また、新庁舎の基本理念や基本方針を踏まえ、設計を進めるにあたっての基本的な考え方として、「ものづくりの活力とおもてなしの心でまちをつなぎ、市民の誇りにな
3	一つ一つの内容は大変良いと思いますが、設計の考え方の表現が固く、いかにもお役所的です。	

		<p>る新庁舎」をコンセプトとし、「市民の安全・安心を支える堅牢さと、瞬時に防災拠点へ機能転換できる備えを併せ持つ庁舎」、「全ての来庁者にとってわかりやすく見通しの良い単純明快な施設構成」、「けやき通りと那加メインロードに面した「おもてなし」の顔づくり」、「各務原市の自然を大いに活かした「各務原型環境建築」の実現」、「柔軟性・効率性・快適性を併せ持つ市民サービスや議会運営の要となる執務空間」を実現できるよう設計を行い、市民に長く愛される新庁舎を目指してまいりたいと考えています。那加メインロードに面して高層棟、ケヤキ通りに面して低層棟を配置し、新庁舎を、まちをつなぐ各務原市の新たなシンボルとします。</p>
4	<p>市庁舎のコンセプトとして、「市民にやさしい」というイメージではなく、「人権の街・かかみがはら」とか「福祉先進都市・かかみがはら」とか「教育日本一のまち・かかみがはら」とか、行政がめざす特徴を掲げていただきたい。そうすることで、市庁舎の内容も変わってくると思います。そのコンセプトが各務原市の特徴となり、市民が一丸となって取り組める全国に発信できる「まちづくり」につながるのではと思います。そのコンセプトは、時間をかけて市民と共に考えていただきたいと思います。</p>	<p>新庁舎の「基本理念」や「基本方針」、また、それを踏まえた「設計の考え方」は、新庁舎の目指す姿として掲げているものです。行政として目指す基本理念や基本方針は、「総合計画」や各施策の基本計画等でお示ししております。</p>
5	<p>設計の考え方の「各務原型環境建築」とは、どういうことでしょうか。</p>	<p>市庁舎における総合的な環境配慮対策の推進と公共施設における先導的な役割を果たすため、新庁舎の建設においては、環境配慮や省エネルギーを推進します。各務原市の豊富な地下水などの自然環境を生かしながら、日射特性に対応した庇、屋上緑化、自然採光など様々な環境負荷低減手法、放射床冷暖房、デシカント空調システム、照明制御システムなどの省エネルギー技術の採用により、一次エネルギー消費量を一般庁舎と比べ、50%以上の削減を目標とした、各務原型の環境に配慮した新庁舎の建設を目指します。</p>

【P.2 計画概要】

	意見	市の考え方
6	<p>新しくなる岐阜市役所、大垣市役所にあらゆる機能面で勝る各務原新庁舎。分庁舎は残すが、地下駐車場を除けば、実質的には</p>	<p>新庁舎の規模については、「新庁舎建設基本計画」（平成28年5月）で想定規模を計画しました。</p>

	13, 000㎡であるが、新しいのにこの程度かと。これからの人口減少、IT化、オートメーション化などを意識した計画なのかもしれないが、もっと面積的に必要なのではないか検証を。	まず、新庁舎の規模算定に広く活用されている総務省の旧地方債算定基準、他市事例などを参考とすると、市庁舎全体としての規模として、20, 000㎡程度が必要であると想定しましたが、市には、本庁舎の他にも、北庁舎（産業文化センター内）、総合福祉会館（健康管理課）、水道事業庁舎といった、現在使用している、または活用可能な庁舎があります。
7	市役所は市民のものですが、市職員の方々が働く場所でもあります。この点は民間企業と同様で、効率的な職場環境が求められることは民間と変わりありません。豪華であってほしくないですが、野暮であってはいけないと思います。職員の方々が働きやすい環境でなくてはなりません。その観点から、延べ床面積は、数字だけ見ると大きいですが、平面図を見ると、せまく感じます。ぎゅうぎゅう詰めのように大丈夫でしょうか。市民サービスを行うための場所なので、もっと広くしたほうが業務も効率的になって良いと思います。	既存庁舎を有効活用し、できる限り新庁舎の規模や事業費を抑えた計画とするため、新庁舎の規模は、市庁舎全体として必要な面積20, 000㎡程度から、活用可能な既存庁舎の合計面積を差し引き、「14, 000㎡程度」としました。
8	基本設計のPDFも拝見させていただきましたが、かなり規模が大きい印象を受けました。産業文化センターのように、1階のスペースがいつ行ってもがら空きでもったいないと感じていますが、新市庁舎もそのような利用のされ方をすることが無いよう、もう少しスマート・コンパクトにしても良いのかと思います。（コストダウンにもなります）	基本設計過程において、具体的に平面計画や必要な設備等を計画し、延べ面積は、「16, 870㎡」を計画しておりますが、地下部分を除くと、執務スペースは、約14, 000㎡となり、妥当な規模であると考えております。
9	着工時期の延期を検討すべきと思うが人口減少の中、7階建てが必要なのか？	
10	来庁者駐車場162台となっているが、議会開催時のみ議員優先の駐車スペースを確保し、その他の時期は一般に開放すべき。議員が駐車スペースを探しにあたふたすべきではない。	市議会開催時の駐車場の利用方法にあたっては、議会のご意見も踏まえながら、計画してまいります。
11	居住地に近く市役所が建つことを喜んでいる者です。近隣に居住される方々が、日照とか、交通事情が悪くなるなど、不利益を受けられないようご配慮して、建て替えをすすめられるよう、心からお願いいたします。	基本設計にあたっては、日照、圧迫感など近隣住民の皆様の生活環境に悪影響を与えないよう十分に考慮して計画しております。今後、駐車場や敷地利用の詳細な計画段階や工事段階においても、近隣住民の皆様のご意見をお聴きしながら、事業を進めてまいります。

【P.3 配置計画】

	意見	市の考え方
12	低層棟、かかみの庭もいいアイデアだと思う。今までの市役所にはないイメージで、かかみの庭をはさみ、低層棟を配置するこ	けやき通りと那加メインロードに面した「おもてなし」の顔づくりとして、「かかみのフォーラム」を整備し、内部の様子が

	とで、庁舎全体の構えが堂々としたイメージになる。	良く見え、親しみやすい庁舎の顔をつくり ます。
13	市役所にはあまり行きませんが、イメージ 図のように新庁舎が市のシンボルとなる ことを期待します。市役所は行政の機能だ けあればよいと考えるも、シンボルの少な い各務原市の大きなシンボルとなる建物 です。今回の計画にある「低層棟」、「か かみの庭」がうまく機能し、にぎわうこと を期待します。	「かかみのフォーラム」には、窓口の待合 スペースや市政情報コーナー、低層棟の市 民ギャラリー併設カフェなどを配置する ことで、通りに面したにぎわいの広場（フ ォーラム）になることを目指します。 また、「かかみのフォーラム」の一部には、 「かかみの庭」を計画します。「かかみの 庭」は、屋根がかかった半屋外空間であり、 イベント開催等が可能で、低層棟1階の市 民ギャラリー併設カフェと一体的に利用 可能とすることも計画します。 低層棟周りは、けやき通りの並木に調和し たランドスケープを形成し、にぎわいとと もに、くつろぎを創出できるよう検討して まいります。
14	局舎を2つにする必要性が有るの ですか？	
15	今の設計案では、低棟層と高棟層に分かれ ています。市庁舎の説明会ではどこの会場 でも「市民の拠点となる市庁舎」「市民に親 しまれる市庁舎」「市民に優しい市庁舎」な どのコンセプトをお聞きしました。そこ で、思い切った案が2つあります。 低棟層はすべて市民に開放してはどうか、 という案です。コンセプトにピタリと当て はまります。市民が集う場所はほかにもた くさんある、とのことですが、市役所に集 うことには大きな意味があります。まず、 核となること。そこへ行けば情報がいっ ぱいある、情報発信もできる、交流できる、 託児もある、カフェがある、ギャラリーが ある・・・困ったときには行政窓口が高層棟 にある。市民と行政が一体となれる拠点。	本庁舎周辺には産業文化センターや総合 福祉会館、市内には、ライフデザインセン ター、福祉センターなどの、夜間や休日 にも利用可能な貸館施設が充実しており、 多くの市民活動に利用されています。 したがって、低層棟をすべて開放する予 定はありませんが、低層棟1階には、誰 もが利用できる市民ギャラリー併設カ フェを配置し、市民等が気軽に立ち寄 ることができるよう配慮した計画としま す。
16	もうひとつは、産業文化センターと市庁舎 と結ぶ連絡通路をつくる。産文には色々 な機能がありますが、庁舎と分散されて いて使いにくいという声もよく聞きます。 そこで、低棟層の上もしくは、外観上適 当と思われる階をつなぎます。連絡通路 はガラス張りで見通しのよい空間をつ くります。その通路では、イベントやガ ラリー展開ができる。	連絡通路の建設は、事業費及び維持管理 費が嵩むことや、周辺環境に与える影 響が大きいため、建設することは考 えておりませんが、少しでも使い勝 手が良くなるよう、部署の配置やサ ービス方法について今後も検討して まいります。
17	那加メインロード側に広場がないのは、 不適切と思う。冬場には、北側が凍結 する可能性強いし（安全性に疑問）、日 光が当たらない。	現庁舎を使用しながら新庁舎を建設す るため、南側を使用することができな いことや、北側住民の日影の関係もあ るため、那加メインロード側に広場を 配置することは困難です。
18	気軽に自転車でも行けるように、建物への	様々な手段で来庁される方々に配慮した、

	出入口の近くに自転車置き場を作っ て欲しいです。	歩行者動線や車両動線を計画して おります。 自転車置き場については、敷地内 に分散して3箇所配置（合計で80 台程度）し、高層棟東側の1箇所、 低層棟北側の1箇所は、各出入口 近くに配置しています。
19	市役所には車で行くが、消防署の 東側の交差点に信号を設置して、西 方向への車両の通行が安全にでき るようにして欲しいです。	来庁者駐車場は、那加メインロード 及びけやき通りの交通状況を考慮 して、新庁舎敷地東側からのアプ ローチを計画します。 そのため、東側道路及び那加メイ ンロードの改良を計画しております が、消防本部南東の交差点におけ る信号機の設置については、交通 量が多く、隣接する西側の交差点 の信号機との距離が近いことから、 新規設置は難しいと考えておりま す。
20	車の出入口が、東と西で狭い。危 険はないか？	
21	公用車駐車場入口スロープ 大水発生時のアンダーパス対策が 不明確、絶対安全だという構造を 明らかにすべきでは。	本庁舎周辺は浸水想定区域ではな いことや、最近の大雨時でも周辺 が冠水することはないため、現在 計画している通常の排水機能で問 題ないと考えております。

【P.4～P.8 平面計画】

	意見	市の考え方
22	新庁舎は各地域サービスセンター の本部機構であり、市民に各サー ビスセンターではできないワン ストップサービスを提供してもら いたい。具体的には北庁舎に分離 している教育・文化・農政等の部 門を新庁舎の低層棟の3・4階を 増床して統合してはいかがでしょうか 。市民サービスに関係が薄い高層 棟の5・6階が北庁舎に移籍す る方法もあると思われます。	新庁舎の規模や事業費の縮減を図 るため、北庁舎（産業文化センタ ー）や水道事業庁舎などの既存 庁舎を活用しながら、新庁舎を 建設いたします。 新庁舎の部署配置については、来 庁者動線調査や部署間の連携状 況を踏まえ、現在とほぼ変らな い計画ですが、現在、北庁舎に ある「環境政策課」については、 市民生活と関りが深いことから、 高層棟2階の市民窓口フロアに 配置する予定です。
23	現在、産業文化センター等に分散 している市の機能は、統合される のか？	したがいまして、北庁舎には、引 き続き、教育委員会、産業活力 部、選挙管理委員会事務局を配 置することとなります。
24	セキュリティはどのように考 えているか。	新庁舎では、来庁者及び職員の 動線を考慮し、防犯カメラの設 置、重要諸室・書庫・サーバー 室等における入退室管理システ ムの導入、中央管理室の整備な ど、それぞれのゾーンに合わせ たセキュリティ対策を行います。 また、あわせて、閉庁時間中は シャッターなどで区画し、関係 者以外の庁舎への立ち入りを制 限する計画とします。
25	1、2階の市民の窓口スペースは、 柱は仕方がないのですが、本当 に開けた空間とすると、開放感、 広さだけでなく、見通しがきい て安心感のある空間になると	高層棟1、2階には、市民利用 頻度の高い窓口、相談、案内機 能を優先的に集約して配置しま す。 窓口フロア南側は、那加メイ ンロードに面

	思います。	して、オープンで見通しが良い待合スペースや1、2階をつなぐ階段を計画していますが、ご提案のとおり、視認性の更なる確保や、市民との打ち合わせに利用できる打ち合わせゾーンなどを検討してまいります。
26	「かかみのフォーラム」は、東へ行けば行くほど、にぎわいという意味では、薄れていくような感じがします。常に待合が混んでいるというわけではないと思うので、例えば、打合せコーナーなど、利用しやすさも考えて、設けたらよいと思います。	
27	エントランスホールには、ぜひ、市の代表産業である航空宇宙産業のPRコーナーを設置いただきたい。例えば、三式戦闘機・飛燕をはじめ、各務原で作られた飛行機（模型）の展示はインパクトがある。（新潟県の燕市役所に行ったときには、入ったところに伝統産業の金属食器などが展示してありました。）そして、リニューアルされる航空宇宙博物館への集客につなげられるとさらにいい。	高層棟1階のエントランスホールに、市政情報や観光情報等を発信する市政情報コーナーやデジタルサイネージ（電子案内板）を設置し、市の魅力を幅広く発信・PRできる計画とします。 さらに、来庁した市民が自分の住むまちを誇りに思い、また、新しく各務原市に住む方が、このまちに来てよかったと思っただけのよう、ご提案のような仕掛けづくりを検討してまいります。
28	6階を占有している議会が広いように思う。	高層棟6階の議会フロアは、現庁舎と比較して、コンパクトな計画となっておりますが、十分なセキュリティを計画しつつ、市民の接しやすさや親しみやすさにも配慮し、共用部のオープンスペースや利用しやすい議場傍聴席等を計画します。
29	議会会議室は、開催日以外に多目的に使えるように、もっと簡素化して、可動式にしてほしいです。	議会委員会室については、多目的に使用できるように可動式で計画しておりますが、議会関連諸室のセキュリティや管理方法の問題、また、議会のご意見も踏まえ、一般開放する予定はありません。
30	低層階は、市民相談室が2階にあり、そのためだけにエレベーターがあります。高層階に組み込むか、玄関付近に2階建てにして市民相談室を設けて、高層階のエレベーターが使用できるようにしてください。エレベーターはメンテナンスも必要になり、少ない方がいいです。	けやき通りに面した新庁舎の顔づくりとして、人の流れを呼び込み、まちのにぎわいを創出し、まちの活力を発信するため、「低層棟」と「かかみの庭」を計画します。新庁舎は、すべての人に分かりやすく、利用しやすい庁舎とするため、きめ細やかなユニバーサルデザインの実現を目指しています。
31	喫茶スペースがいるのなら、切り離して北側に単独で木造で作ってください。	そのため、低層棟にも、高齢者や車いす利用者の方々に対するバリアフリーに配慮し、エレベーターを計画しております。低層棟1階には、来庁者の利便機能を集約する計画です。具体的には、市民ギャラリー併設カフェを中心的な施設とし、金融機関のATMコーナーを設置する計画です。また、必要に応じて、市民ギャラリー併設カフェと「かかみの庭」を一体的に利用可能とする計画とします。 したがって、喫茶スペースを単独で計画はいたしません。

【P.9 防災計画】

	意見	市の考え方
32	様々な防災拠点の機能に期待します。	新庁舎は、市民の安全・安心を守る重要な拠点庁舎であり、災害対策本部が設置される総合的な防災拠点として万全な備えを確保します。 高層棟4階に、防災対策課執務室、防災無線室、共用会議室を集約配置し、災害時には共用会議室を転用し、災害対策本部など災害対応スペースとするなど、災害対応の効率化を図ります。 また、「免震構造」の採用、7日間連続運転が可能な「自家発電装置」等のライフラインの多重化など、万全な防災拠点機能を構築する計画です。
33	熊本地震では、免震装置のある病院とない病院とでは、その後の対応が全く違ったと聞いたことがあります。コストはかかると聞いたことがあります。免震構造は良いと思います。完成後の免震装置の維持管理やメンテナンスはどうなるのでしょうか。	高層棟は、災害時に災害対策活動拠点としての機能を発揮し、継続して庁舎機能を維持できるよう「免震構造」を採用しています。 いつ何時も確実に免震機能を発揮し、建物の安全性を確保するために、法令等に基づき、定期的な点検を実施する必要があります。また、地震の後には、必要に応じて応急点検を実施します。
34	災害対策本部の役割や機能の説明のところに「事態の推移により機能を拡張することで迅速な復旧・復興対策を可能とします」と書いてありますが、言っている意味が分からないので説明してください。	災害時は、高層棟4階の共用会議室エリアを災害対策エリアとして転用し、災害対策本部や、警察、自衛隊等の関係機関の活動、連絡調整スペースとする計画です。 災害警戒から災害対策本部の設置まで、事態レベルに応じて、体制や活動スペースを上げていくことにより、効率的で、迅速な対応が可能であると考えております。
35	7日間の自家発電装置は大変良いと思います。	災害に対する備えについては3日分が推奨されてきたところですが、南海トラフ地震のような広域的に被害が発生し、想定以上に復旧に時間がかかることも考えられることから、168時間＝1週間の能力を有し、安定的な電力を確保し、拠点機能が自立できる計画とします。
36	新庁舎は避難所にするのか。それには反対する。過去の災害でも、「対策立案」と「市民対応」が一緒の建物にあると、市民が直接要求してくるため、混乱してしまう。災害対策本部の活動に集中してほしい。	市庁舎は、市の地域防災計画で指定する避難所ではありません。災害時には、災害対策本部が設置され、災害対策を行う拠点となるとともに、各課の業務も行う必要があります。そのため、新庁舎で長期の避難者を受け入れることはできませんが、一時の避難スペースとして、低層棟の活用を想定しています。状況が安定し、安全が確保できれば、自宅へ帰ったり、長期の避難生活
37	新庁舎ができると、市役所に避難できるようになるのでしょうか。	

		が必要な場合には、指定避難所へ移動していただくこととなります。
38	面積表、地下1階2, 950㎡となっていますが、少なくとも公用車60台分→100台分の面積とする。駐車スペースは60台分でOKだが、いざというときの各シェルターの役割として、100台分の面積とする。地下工事は、後では不可能に近いので、コストの問題もあるが、思い切って先行投資と考えて行く。→デシカント空調にも、より有利となる。	災害対策本部を設置する新庁舎は、災害対策活動を行うため、災害時の避難所には指定せず、シェルター等の避難機能は計画しません。 また、地下施設は掘削等のコストが大きいため、免震ピットの活用のみとし、必要以上の規模を整備することは考えておりません。
39	防災ヘリ、県警ヘリ、ドクターヘリ、自衛隊ヘリあらゆるヘリが着陸できるヘリポートを屋上に設置してください。	災害時に新庁舎が孤立するような状況（地形、交通網等）にないことや、新庁舎に直接降りる必要性はないため、屋上ヘリポートは設置しません。 なお、緊急時の輸送手段として、本庁舎の近隣では、市民公園や那加中学校運動場を臨時ヘリポート開設予定地としております。
40	防災用品の確保場所は、十分ありますか？	災害対策本部機能維持のための備蓄用に、高層棟地下に倉庫を設ける計画です。災害用の備蓄品や数量等については、今後策定を予定している「業務継続計画（BCP）」等に基づき、検討します。 なお、避難者用の防災備蓄品は、指定避難所となる小学校、中学校、福祉センターに備蓄しております。

【P.10 環境配慮計画】

	意見	市の考え方
41	井水槽、雑用水槽について 地下水槽は絶対に水漏れ、キレツ等の発生があってはならない。最初から不透性樹膜皮膜又はコーティングかつコンクリートは不透水コンクリートと強度を両立させたものとする。	ご指摘のようなことはあってはならないため、十分な強度と防水仕様とします。

【P.11 ユニバーサルデザイン計画】

	意見	市の考え方
42	ユニバーサルデザインが充実した新庁舎になりそうです。これからの時代は、車いす優先トイレを別に設置するということも当たり前なのかと思いましたが、いわゆる「LGBT」への配慮も必要だと思います。	市民、来庁者の利用頻度が高い高層棟1階、2階には、「多機能トイレ」と「車いす専用トイレ」を別に設置するなど、性的マイノリティにも配慮した計画を検討しております。 また、多機能トイレには、「誰でも利用できる」旨の表示を行います。
43	市役所の授乳室やキッズスペースの需要が実際どれほどか分かりませんが、子供連	現庁舎の窓口では、膝の上に子供を抱えながら手続きをされている方も少なくあり

	<p>れの女性も多く市役所に行くと思うので、女性視点の配慮も当然考えなければならぬと思います。</p>	<p>ません。新庁舎では、高層棟1階に、授乳室の設置や、子育て支援課付近にはキッズスペースを配置するとともに、ご意見に対する一つの方法として、子育て支援課窓口については、ベビーカーを横において手続きができる、幅が広めの窓口カウンターを検討いたします。</p> <p>また、市民利用頻度の高い高層棟1、2階のトイレには、ベビーキープや、親子で利用可能な「親子トイレ」を計画します。</p>
44	<p>授乳室は、奥の方にするよりも、目の付きやすい分かりやすい場所にあった方がよいと思います。</p>	<p>授乳室は、高層棟1階北西の主出入口付近で、エントランスロビーに面し、総合案内からも見通せる位置に計画いたします。</p>
45	<p>多機能トイレ ※2の記載 「オストメイトの方に対応した設備機能を整えたトイレ」との記載は確認したのですが、「オストメイト装具を、保管する場所」について質問します。過去日本国内で災害時に、オストメイトが装具の持ち出しが出来なくて、人間生活が出来ない状況となり困惑した経験から、自治体（例 小牧市）では、災害時の要援護者への対応の一環で、「装具の預かり」を実施されています。</p> <p>市の福祉課の窓口の方へも、今年始めにお願いと資料を提出済みです。是非、実施をお願い致します。</p> <p>「災害時用オストメイトトイレ」も昨年の熊本にて、設置された事を聞いております。このトイレも設置していただけますよう、希望致します。</p> <p>災害時要援護者対策の一環として、「ストマ装具の保管」を市役所で行っていただきたく、希望致します。</p> <p>近県では、小牧市で実施され、下記にURLを記します。 http://ostomyaichi.web.fc2.com/02_sai_gai/komaki_1.pdf http://ostomyaichi.web.fc2.com/02_sai_gai/komaki_2.jpg</p>	<p>新庁舎は、一時の避難者の受け入れは想定しておりますが、指定避難所ではありません。</p> <p>ご提案いただきました、オストメイト装具の預かりや災害用オストメイトトイレの設置については、市の防災対策を推進する中で、他市の事例や過去の震災の教訓を踏まえながら、小中学校などの指定避難所におけるオストメイトの災害対策について検討してまいります。</p> <p>なお、災害発生当初は、行政の救援等がすぐに行き届かないため、自分の命は自分で守る「自助」、みんなの地域はみんなで守る「共助」が非常に重要です。日頃からの個人による装具の備蓄や、仲間同士の助け合いの輪を広げておくなどの防災対策をお願いします。</p>
46	<p>1、2階をつなぐ専用階段ではなく、エスカレーターが良い。</p>	<p>エスカレーターは、車いすやベビーカーが利用できないなどの制限があります。そのため、費用対効果も考慮して、エスカレーターは設置せず、1、2階をつなぐ専用階段の設置や、エレベーターを現庁舎の2台から3台に増設することを計画します。</p>
47	<p>今の市役所は案内や配置が見にくい。新しい庁舎は、誰でも分かりやすいものにして</p>	<p>高層棟には出入口を3ヶ所設け、北西の出入口を主出入口として、新庁舎の正面性の</p>

	ほしい。	ある顔づくりをします。また、北東、南側の出入口についても、迷うことなく用件のある部署を訪れることができるよう、誰もが分かりやすい案内表示（サイン）や設備（視覚障がい者向け設備等）を検討します。 総合案内は、高層棟北西の主出入口及び待合ロビーから見通しのきく位置に配置する計画とします。 また、新庁舎の案内表示については、誰もが理解できるよう、案内用図記号（ピクトグラム）、絵、色等を使用した分かりやすい表示や位置を計画します。
48	市役所のふれあいバスですが、高齢者の利用が多いと思いますが、弱者という意味では、思いやり駐車場のよう、バス停から南東側出入口まで屋根をかけることはできないでしょうか。	新庁舎開庁後の利用状況を見ながら、検討させていただきます。

【P.12 外装計画】

	意見	市の考え方
49	外観コンセプトは、鵜沼宿と航空機のコーポレーションをイメージし、斬新で、とてもいいデザインだと思う。	外観イメージは、各務原市の「顔」として、3つの各務原らしさを表現した計画とします。 一つ目は、おもてなしの顔づくりとして、コンクリートに木質系の色調の塗装をした壁部分とガラスの組み合わせにより、旧中山道の宿場町の風景を受け継ぐ格子のような外装デザインとします。 二つ目は、航空宇宙産業の活発な都市としての顔づくりとして、飛行機の翼のように大らかな屋根と庇を計画します。 三つ目は、新庁舎を訪れる市民の表玄関としての顔づくりとして、にぎわいを創出する「かかみのフォーラム」の中に、「かかみの庭」を計画します。
50	高層棟の屋根の形状「飛行機の翼のように…」となっているが、今後の温暖化による超ド級の台風による強風によって、飛行機の翼の形状では大きな「揚力」が生じ、屋根の浮き上がり更には吹き飛ばされる恐れがあると懸念します。飛行機の翼形状は、不可と考えます。再考願います。	風圧力に対する強度は十分確保しますので、屋根が吹き飛ばされることはありません。
51	市役所の中で会議をやっていると自衛隊の音によって会議が中断することがあるので騒音対策はしっかりやってほしい。	新庁舎は、自衛隊航空機の防音対策として、防衛省が定める1級防音工事を施工しますので、会議の進行や電話の会話等に問題ないレベルに抑えることができると考
52	電話が遮られる自衛隊ジェット機の防音	

対策はしっかり実施してください。	えております。
------------------	---------

【P.13 構造計画】

	意見	市の考え方
53	これまでの震災を見ると、免震構造を採用したことも大いに賛成である。しかし、各務原は昔から岩盤で地盤が強いと聞いていたが、液状化が心配である。可能性が有る以上は、傾かないように、しっかりとした対策を取っていただきたい。	現庁舎敷地の地盤調査の結果を受けて、液状化の検討を行ったところ、大地震で「液状化危険度が高い」との結果が出たため、建物を安全に支持し、液状化の発生を抑える対策として、地盤改良を行う計画です。なお、採用する地盤改良の工法は、液状化対策として多くの実績があり、東日本大震災でも実証事例があるものです。

【P.15 工事計画】

	意見	市の考え方
54	全体の完成が2022年の予定であるが、もっと早くしないとだめなのは。	新庁舎建設事業は、いつ発生してもおかしくないといわれる南海トラフ巨大地震等を踏まえて、早期に新庁舎が完成できるよう計画し、平成30年度に実施設計を、平成31年度に建設工事の着工を予定しております。また、新庁舎建設基本計画でお示した概算事業費は、計画策定当時（平成28年5月）に建設された他市の新庁舎の1㎡当たりの工事単価を時点修正した平均値45万円/㎡を採用して算出したものです。現在進めております基本設計における概算事業費の積算については、平成30年2月頃に判明する予定です。なお、オリンピック関連工事（施設整備）は、平成31年度に開催されるテストイベントに合わせて、平成31年度前半までには、おおむね終了する予定で進められています。したがって、新庁舎建設事業への特別の影響は少ないと考えておりますが、引き続き、建設業界の動向やコスト管理には十分留意しながら、スピード感を持って事業を推進してまいります。
55	できる限り早く工事計画を進めてほしい。	
56	となりの岐阜市の新市庁舎計画では、建築資材値上がりで総事業費は基本設計の200億円から260億円まで膨らんでいる。当各務原市の新市庁舎建設の工事完了は平成34年7月中旬でほぼ同時期となっている。果たして建設費80億円で建てられるのか不安である。建設時期を見直す必要があるのではないか。	
57	工期がオリンピックの影響を受けて来る時期と重なっています。人件費、資材の高騰などで、建築費が80億よりオーバーする可能性が高いです。後、5年くらい、伸ばすことも、考慮して欲しいです。	
58	東京オリンピックで建設業界が大変忙しいと聞いていますが、そのことで着工時期・建設費が適切なのか？	
59	東京オリンピック・パラリンピックに向け、建設費、人件費が高騰しているこの時期に、どうして急を要しない市役所建て替えをするのかがわからないし、納得のいく説明を受けていない。	
60	工事中の来庁者駐車場が減りそうだが、どうなるのか。	新庁舎建設工事中は、来庁者駐車場が現状の半分程度の60台程度に縮小されます。そのため、新庁舎の駐車場が整備される平成34年度の全面完成までは、市民公園東の公共駐車場を活用し、移動支援策として、本庁舎間の車両輸送を検討してまいります。

【新庁舎の機能に関すること】

	意見	市の考え方
61	敷地内の全面禁煙は難しいと思いますが、新庁舎の中は禁煙にしてほしいです。	新庁舎における喫煙所については、来庁者用及び職員用について、受動喫煙防止対策を強化する国の方針も踏まえ、適切に検討してまいります。
62	現在の市役所に植わっている桜や松の樹木はどうするのか。全てとは言わないが、愛着や歴史のある樹木は大切に、できるだけ残してほしい。	現在の敷地内にある樹木については、すべてを保存、移植することは困難ですが、樹種を選定した上で、移植を検討してまいります。
63	各務原の市役所では、市長専用の〇〇とか、議員専用の〇〇とかはやめてほしい。	現庁舎にもある市長執務室や議員控室等は計画いたしますが、新庁舎において特別に専用とする設備等はありません。
64	備品は旧来のものを使い、なるべく出費が少なくなるようにしてほしい。	新庁舎の備品・什器は、実施設計の段階で、新規の購入計画や、既存備品の転用計画を作成する予定です。
65	積極的な緑化は理解できるが、維持管理を考えると、屋上全面の緑化はいらなと思う。きれいに保つには、それなりの費用がかかる。	新庁舎における緑化については、環境への配慮や緑化に関する計画、基準を踏まえるとともに、維持管理を考慮しながら検討してまいります。
66	市民も使いやすい、そして、職員の方々も使いやすい新庁舎。気持ちよく仕事してもらい、市民サービスの向上になればよいと思います。	市民の利用にあたっては、市民の利用頻度が高い窓口を1、2階に集約し、全体が視認しやすい施設構成とすることや、分かりやすいサイン、ゆとりのある通路幅等、ユニバーサルデザインに配慮した、誰もが利用しやすい計画とします。 また、職員の執務にあたっては、執務ゾーンの形状を整形でひとつつながりのオープンフロアとすることで、将来的な組織改編に対してもフレキシブルに対応できることや、サポートエリア（更衣室、書庫、会議室等）を適切に配置し機能的な空間とすることなど、柔軟性・効率性・快適性を併せ持つ執務空間として、市民サービスの向上を目指します。

【予算や財源に関すること】

	意見	市の考え方
67	岐阜市役所の庁舎は、事業費が1.2倍になってしまったが、各務原市ではこのようなことがないようにしてほしい。今の時点ではどれくらいの事業費なのか説明してほしい。	新庁舎建設基本計画でお示しした概算事業費は、計画策定当時（平成28年5月）に建設された他市の新庁舎の1㎡当たりの工事単価を時点修正した平均値45万円/㎡等を採用して算出したものです。
68	現市庁舎より1.6倍（地下駐車場を除けば実質1.3倍）の規模。これから少子化は免れません、ということは人口減はあきらかです。実際に執務する業務は煩雑であることは理解できます。それ故の構想なの	現在進めております基本設計における概算事業費の積算については、平成30年2月頃に判明する予定です。 建築物の整備にあたっては、構想、設計、施工などの一連の過程において適切なコ

	<p>でしょう。しかし原案ですと行政側、職員の働きやすい環境作りがメインのように思えます。もちろん、バリアフリーや耐震などの問題、維持費やエネルギーの面など熟慮されているとは思いますが、実際コスト面はどうなのでしょう。予算はあくまでも見込み。これ以上ふくれあがることはない、とは言い切れない歯切れの悪さを感じます。身の丈にあった市庁舎作りを望みます。補助金などの利用は、権利として選択支はあるのかもしれませんが、それも国民の税金です。市の税収に見合った規模が妥当ではないかということです。その際、予算がふくれあがる要因をしっかりとチェックすることが大事。とのことですが、チェックして、マイナスオプションで予算を削る努力、その覚悟をしっかりと市民に説明をしていただきたいです。</p>	<p>コスト管理を行い、適正なコストで質の高い建築物を作ることが大切です。特に、設計諸条件を踏まえて建築物の内容が具体化されていく設計段階におけるコスト管理は重要であると認識しており、可能な限り合理的な手法で品質とコストの両面からのマネジメントを行っていく考えです。</p>
69	<p>市民としてやはり気になるのはコストです。イニシャルコストだけでなくランニングコストについても考えた建物であることが必要ですが、将来的なランニングコストの見通しを確認できるような説明を盛り込んで欲しいです。</p>	<p>ランニングコスト（維持管理費）につきましては、導入する設備、受電容量などが未定であり、基本設計の段階で試算することは困難です。</p> <p>しかし、必要最小限のランニングコストで建物を良質な状態に保つためには、設計段階からライフサイクルコストを考慮して、将来的なランニングコストの低減につなげていくことが欠かせないため、基本設計や実施設計において導入する設備機器類の機能や機種・グレードなどのコスト検証を行ってまいります。</p>
70	<p>建物全体の維持管理費を抑えるような計画としてほしい。</p>	
71	<p>現局舎と新局舎のランニングコストの比較は？</p>	
72	<p>少子高齢化で、納税者人口も減っていきます。歳入が将来減ることが分かっているのですから、ランニングコストのかかる箱モノに対しては極力、合理化、簡素化を望みます。</p>	
73	<p>市庁舎の耐震化をコンクリート寿命65年説に基づき、今、耐震補強して20数年後に建て替えるよりも、今、建替えたほうが安くできる（ライフサイクルコスト）という考えが進められています。しかし、全国的にもオリンピックやリニア新幹線などで資材の高騰や人手不足によって、他の自治体でも公共工事の入札不調が起き、予算通りに出来なくなっています。過去の例を見ても公共事業は殆ど予算オーバーになっています。市庁舎建て替えてライフサイクルコストが成り立たない又は成り立つ境界の建て替え建設費の数字を教えてください。</p>	

74	<p>ライフサイクルコストが成り立たないくらい予算オーバーした場合誰が責任を取るのでしょうか。</p>	<p>また、本庁舎に関して併せて考えなければならない重要なことは、本庁舎は市民サービスや防災の拠点であるということです。市は、大地震時に機能が麻痺することなく、災害への対応や継続的な市民サービスを行う責任を負っています。</p> <p>この点を踏まえ、本庁舎の耐震化の必要性を確認し、拠点となる庁舎に求められる耐震化の目標（重要度係数1.5 I s値0.9以上）を決めた上で、耐震補強、免震、建て替えなどについて、整備内容、耐震化による既存設備の改修の必要性、現庁舎が抱える課題や問題点、各整備方法のコスト等を比較・検討した結果、建て替えが適切であると判断したものです。</p> <p>以上の過程は、有識者や市民の参画による会議及び市議会において、十分な議論を踏まえて決定されたものであり、市民の皆様にも、これまで、パブリックコメント等で意見をお聴きしたり、広報をはじめ様々な機会でお知らせしております。</p>
75	<p>どれくらいの借金をするのも教えてほしい。</p>	<p>新庁舎建設事業の財源は、「庁舎等整備基金」を基本といたします。</p> <p>庁舎等整備基金は、新庁舎建設のために積み立てた「基金」（家庭でいう貯金）で、これまで計画的に積み立て、平成28年度末の積立額は60億円となっております。平成29年度当初予算では、10億円積み立て、70億円となる予定です。</p> <p>また、航空自衛隊岐阜基地に関連する防衛省補助金を要望しているところです。</p> <p>なお、借金にあたる「市債」（地方債）につきましては、現時点では財源とする予定はありませんが、庁舎の建て替えに係る国の支援がある有利な地方債が創設されたところであり、活用の可能性も含めて検討してまいります。</p>
76	<p>新庁舎建設のための基金があると聞いた。これからを担う子供たち、将来の世代にツケを回してはいけない。計画的な財源運営を希望するが、現在の市の財政状況を教えてほしい。</p>	<p>市では、市民との対話を重ね、総合計画に掲げた様々な分野の取り組みを着実に推進し、まちと人の安心・元気につながる施策を展開しながら、財政力指数や経常収支比率などの各種財政状況指標はいずれも良好で、全国的に見ても健全な財政状況を維持しています。</p> <p>家計でいう貯金にあたる「基金」は、将来にわたり安定した質の高い行政サービスを提供するため、計画的に積み立てています。新庁舎建設事業では、「庁舎等整備基</p>

		<p>金」を計画的に積み立て、平成28年度末残高は60億円となっています。</p> <p>家計でいう借金にあたる「市債」は、将来に過大な負担を残さないよう必要最小限の借入を行っています。また、借金の償還金の一部または全部について、国の支援がある有利な市債の借入を行っています。市債の残高は、平成22年度以降、年々減少しており、平成28年度の市債現在高は、前年度より約25億6100万円減少しました。</p> <p>市では、これからも引き続き健全な財政運営を行ってまいります。</p>
77	市の特徴は、自衛隊基地の補助金があるらしいが、絶対にもらって欲しい。	<p>市の一般財源の負担を減らすため、国や県からの補助金は、その活用に向けて、積極的に要求してまいります。</p> <p>なお、補助金には、補助の対象とする整備目的が定められていますので、補助金を受け取るにあたり、庁舎のグレードを上げたり、立派なものにしたりすることはできません。</p>
78	すべてが、回りまわって税金です。国から県から助成金が出るという発想で行い、グレードを上げて立派な庁舎をという考えはやめていただきたいです。	
79	子、孫の代に、負担を押し付けないように、少しでも、福祉などに税金が使われますよう考慮してください。コンパクトで、効率的な庁舎を望みます。	<p>現在、本市は、全国的に見ても健全な財政状況を維持しておりますが、不断の行財政改革の中で、選択と集中の考えのもと、将来に過大な負担を残さないよう健全財政の堅持に向けた取り組みを着実に推進することが必要であると考えております。</p> <p>そして、事務事業の効果を十分検証した上でスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、限られたマンパワーと財源をもって最少の経費で最大の効果を上げるとともに、市民福祉の増進に努めております。</p>
80	新庁舎の建設が税金の無駄使いかのような噂を聞くが、何が無駄なのか。大きな費用がかかるから、しっかりとしたものを作る必要がある。ただ面積を小さくしたり、中途半端なものにすることが良い税金の使い方なのか。それこそ、税金の無駄使いである。	<p>新庁舎建設事業の財源については、「庁舎等整備基金」を基本としており、決算上の剰余金を活用するなどし、計画的に積み立ててまいりました。今後も決算上の剰余金などを確実に積み立てることにより、一般財源の負担軽減に努めてまいりますので、福祉や教育などの市民サービスに影響が及ぶことはありません。</p> <p>なお、事業費については、今後ともコスト管理に十分に留意してまいります。</p>
81	膨大な予算を使うこと、市民税があがることはない、市民サービスは削減しない、など公約としていますが、実際市民サービスはすでに削減されています。そう感じる市民は少なくないと思います。	
82	新市庁舎を建設することで、小規模な活動をしている団体、人づくり・子育て、高齢者、障がい者への予算がなくなる、削られていくことはありえません。箱ものより人にお金を使って頂きたい。そのお金は、私たちの税金なので・・・	
83	今後少子高齢化で税収が減っていくことが分かっているのに、そのことを踏まえて計画しているのかも不安です。	

【その他】

	意見	市の考え方
84	大きな事業なので、市経済活性化のために、建設の時は、ゼネコンだけでなく、地元の業者にも仕事の機会を与えてほしい。	地元事業者の活力を生かし、地域経済の発展につながるよう、地元事業者が参画できる手法について検討してまいります。
85	基本的な話になりますが、建設場所が自衛隊の騒音により近づいています。もっと離れた場所にすれば、防音工事の費用も削減され、他のことに使えます。再度、建設位置の検討を強く望みます。	建設場所については、新庁舎建設基本計画において、新庁舎建設事業の緊急性、事業費の縮減、また防災面、市民の認知度、利便性、交通アクセスなどを総合的に考慮し、新庁舎の建設場所は、「現庁舎敷地」が最適であると決定し、事業を進めてまいりました。 なお、新庁舎は防衛省の1級防音工事により、防音対策を実施します。
86	防災においても、行政の仕事においても、市全体を考慮すべきです。各支所へ移管できるものは移して、市庁舎でなければならないものを優先していくことで、コンパクト化が可能だと思います。ぜひ、無駄のないトータルな市庁舎構想を示していただきたいと思います。	現在、市民生活と関わりが深い最寄りの窓口として、市の出張所＝「市民サービスセンター」を市内6ヶ所に配置しています。本庁舎で行っている相談業務や防災機能などを市民サービスセンターでも行うようにするには、相応の施設規模や職員配置が必要となり、困難であると考えております。 市民サービスセンターの役割や機能は、従来どおりとしますが、今後も市民サービス向上のため、エリア担当職員の配置により、各業務担当課と市民サービスセンター間の連携を密にし、きめ細やかな対応を図れるよう努めてまいります。
87	疑問点、何故建て替えが決まったか？耐震工事がかかりすぎるということで、建て替えと判断されたといいますが、現実的な部分で、耐震工事は、不可能ではないと思います。再度、耐震工事の方法を現在の建築技術の最高峰を研究して、安価で効率的な工法を調査すべきだと思います。広く工法を求める方法でも良いと思います。	本庁舎は昭和48年3月竣工で、昭和56年6月以前の旧耐震基準で設計された建物です。平成25年度に実施した耐震診断では、すべての階で耐震基準を満たしておらず、「大規模地震発生時に倒壊又は崩壊の危険性が高い」という結果となっています。また、耐震性の問題に加え、設備の老朽化、狭あい化、バリアフリー等の課題を多く抱えています。
88	新市庁舎建替えについては、全面的に反対ではありません。ただ、耐震工事でも良いんじゃないか、という意見があるのに全く耳を貸さず、検討することもないようで、納得していない市民が多数いることに不信感があります。	防災拠点である本庁舎の耐震化については、国土交通省が官庁施設の特性に応じて耐震性安全性の目標を定めた「官庁施設の総合耐震・耐津波計画基準」に基づき、大地震後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られる最高水準の耐震性能が必要です。 この基準を満たすよう、鉄骨ブレースや外付けフレームによる耐震補強、制震補強、

		<p>免震補強など様々な工法について、効果や費用を考慮しながら、検討いたしました。耐震補強や免震補強を行う場合でも、計画・設計・工事に要する期間は新庁舎建設と同程度かかると考えられます。また、補強後約20年は使用し続けるために、老朽化した設備の改修等をあわせて行う必要があることや、居ながら工事ができず、仮設庁舎が必要となること、さらに、約20年後には改めて新庁舎建設の必要性が出てまいります。</p> <p>整備方法、現庁舎が抱える課題や問題点、コストの比較・検討を行いました。コスト面において将来世代に過大な負担を残さないことを考慮し、慎重に検討を行った結果、新庁舎建設が最適な方法であり、いつ発生するかわからない大規模災害に備えるため、早期に新庁舎を完成できるよう、今後も新庁舎建設事業を推進してまいります。</p> <p>以上の過程は、有識者や市民の参画による会議及び市議会において、十分な議論を踏まえて決定されたものであり、市民の皆様にも、これまで広報をはじめ様々な機会でお知らせしております。</p>
89	<p>9月議会の一般質問にもあったように、市役所は建て替えが必要なのに、市役所より古いものもある小中学校の校舎は長寿命化で対応する、というダブルスタンダードの合理的な理由を示してほしい。</p>	<p>まず、市は公共建築物の使用可能年数に関して、具体的な基準は定めておりません。建築物の耐用年数は、一般的に一般社団法人建築学会等の資料に基づいて設定することができます。しかし、建築物の実際の使用可能年数については、コンクリート劣化度調査などに基づき推定することになります。</p> <p>したがって、各公共建築物建て替えの検討に際しては、将来的な公共施設の役割や機能の見直しも踏まえながら、建物の劣化状況や今後の大規模修繕のタイミング、コスト比較など、詳細な検討を行った上で施設ごとに判断しますが、定期的な点検や予防保全型の維持管理を実施することにより、施設を健全な状態で維持しながら使用年数の延長を図ってまいります。</p> <p>本庁舎の建て替えについては、まず本庁舎の耐震化の必要性を確認し、拠点となる庁舎に求められる耐震化の目標（重要度係数1.5 I s値0.9以上）を決めた上で、耐震補強、免震、建て替え等について、整備内容、耐震化による既存設備の改修の必</p>

		<p>要性、現庁舎が抱える課題や問題点、各整備方法のコスト等を比較・検討した結果、建て替えが適切であると判断したものです。</p> <p>また、学校については、個々の施設の状態等を調査し、平成32年度までに、建て替えも含め長寿命化計画の策定を目指してまいります。</p>
90	<p>産業文化センターの説明会に参加したが、会場で意見を言っても、「ご理解願いたい」と計画を押し通そうという態度を示すだけ。「いったん持ち帰って検討する」としなければ、説明会の意味はないと思うがいかがか。</p>	<p>市民説明会については、基本設計を進めるにあたり、市民の皆様のご意見をお伺いしながら、市としての考え方や方針をご説明することを主眼としておりますので、すべてのご意見やご要望に沿うことはできません。</p> <p>これまでに頂いたご意見の中には、基本設計後の実施設計や庁舎の運用において、貴重なご意見もありますので、その段階で検討し、反映を判断してまいります。</p>
91	<p>まだまだ納得していない市民がたくさんいます。誠意あるご対応と、真摯に向き合っていただくことを願います。</p>	<p>新庁舎建設事業においては、平成26年度の本庁舎耐震化の検討開始以来、今日に至るまで、広報紙、ウェブサイト、新庁舎建設かわら版の発行、イベントにおけるパネル展示、出前講座など様々な機会をとらえて、市民の皆様へ情報提供しています。</p> <p>また、本庁舎耐震化基本構想（素案）の地区別説明会やパブリックコメント、基本計画検討過程における新庁舎の機能を考える市民ワークショップ、新庁舎タウンワークショップ、基本計画（案）のパブリックコメント、基本設計（案）の市民説明会やパブリックコメントなど、様々な市民参加の場を設けて、市民の皆様の声をお聞きしてまいりました。</p> <p>今後とも、引き続き、市民の皆様のご理解が得られるよう丁寧に進めてまいります。</p>
92	<p>既存の施設のメンテナンスもしてください。あすかホールの音響の悪さはあり得ないと思います。施設利用料を徴収する以上、責任あるご対応をお願い致します。</p>	<p>今後の市政運営の参考とさせていただきます。</p>